

【INACOME】起業者と地域課題のマッチングプログラム 実施レポート

作成日：令和3年2月28日

作成者：いなか伝承社 田中寛人

■属性

受入希望自治体：静岡県静岡市

地域課題テーマ：地域資源を活かした新たな事業の創出
(農産物の高付加価値化、交流・体験ビジネスの創出)

マッチング起業者：いなか伝承社 田中寛人

■レポート内容

1. 提案概要

<テーマ>

未利用資源の掘り起こしから始める地域資源活用、また、既存地域資源の新たな切り口を探す地域資源活用の仕掛けづくり

<提案内容>

- ① 文献調査及び現地調査にて未利用・低利用地域資源を多数掘り起こす。
- ② 既存の地域資源の新規活用方法の調査（違った方向から視る）
- ③ 掘り起こした①と②の地域資源の詳細調査、及び実現可能性調査、優先順位付け
- ④ 掘り起こした地域資源の可視化に向けたモニターテスト又は小さな実践
- ⑤ 掘り起こした地域資源で仕掛ける。

パターンA：私田中が実施する

パターンB：地域内の関心のある人材と実施する

パターンC：県内外の移住者/移住希望者と実施する

パターンD：移住希望者ではないヨソモノも巻き込んでみんなでやる

(ファンを作るところから交流の意味も込めて実施)

仕掛け方は、地域おこし協力隊の活動テーマや地域プロモーション動画、SNS発信、ご当地商品開発、ここにしか無い観光用体験コンテンツ化、移住促進用体験コンテンツ化、起業や地域の方の第二創業等。静岡市のファンを増やすという意味でも、中長期的視点で実施。

※最初に時間をかけて一気に多数の地域資源を調べることで、地域側の住民が興

味を持つテーマが現れる可能性が高まり、地域側も関わりやすくなる。

※多数の地域資源を掲げることで、なるべくお金をかけずに実施できる企画（自然系や文化系、食系など）も現れやすくなり、地域側が関わりづらい「大きなコト」ではなく、「小さなコト」「身近なコト」から関わることができ、苦労+成功体験を積み、地域側人材の育成にもつながります。

※ここでいう「地域資源」とは、

建物、景観、自然、伝統産業、農林産物、植物、動物、昆虫、かつての暮らしそのもの、民具、郷土料理、地域の人が持つスキルや技術など幅広いジャンルを含む。

2. 調査報告

<調査スケジュール>

- 2/17 静岡県側担当者と調査内容についての打合せ
- 2/18 静岡県側担当者と調査内容についての打合せ、ネット上の情報収集
- 2/19 静岡県側担当者と調査地及びスケジュール調整打合せ
- 2/20 調査地確定。静岡県側担当者と調査内容及びスケジュール調整打合せ
- 2/21 静岡県側担当者と調査内容及びスケジュール調整打合せ

<調査結果の詳細>

- 2/20～21 ネット上での由比地区の情報収集
- 2/22 現地入り
 - 観光案内所にて観光パンフレットの収集
 - 静岡県側担当者と調査内容及びスケジュールの打合せ
 - 静岡県立図書館にて調査に必要な文献の借り受け
 - 静岡県側担当者に案内して頂き、浜石岳視察
 - 地元スーパー2軒にて地域製品の調査
 - 集落支援員の方から地元情報聞き取り
 - 集落支援員の方に案内して頂き、宿場街道の視察
 - 借りた文献を調査
- 2/23 集落支援員の方に案内して頂き、入山地区の全集落を視察及び集落住民の方々から地元情報聞き取り
 - 入山地区自治会長から地元情報聞き取り
 - 観光ガイドの方から地元情報聞き取り
 - 東海道広重美術館を視察
 - 地元農家の方から地元情報聞き取り
- 2/24 由比生涯学習交流館にて資料約 50 冊調査

集落支援員の方に案内して頂き、入山地区の住民の方々から地元情報聞き取り

<考察>

調査の結果、静岡市由比地区の活用できそうな地域資源として、

- ・石垣
- ・地元の年配の住民の皆さまのスキル及び知恵
- ・柑橘
- ・お茶
- ・郷土料理（金山寺味噌など）
- ・滝など があり、

それらを活用した由比地区にしか無い魅力的でユニークな体験プログラム事業及び、体験プログラムを通じた交流人口の創出・移住促進プログラムや学びを通じた人材育成プログラムが造成可能であると考えられた。

一方、事業展開に当たっての課題として、今回判明した地域資源に関して詳細な地域資源の深掘りと、毎回出張するわけにはいかないの、地域側の地域おこしに関わり連携できる実践可能な若手プレイヤーが必要であるが、今のところはその数が限られており、プレイヤーの探索又は人材育成も同時に進める必要があると感じられた。

3. 対象地域における今後の事業展開

今回の調査は非常に限られた時間だったため不十分感は否めないが、漁業で有名な由比地区の農山村部にも活用できる有効な地域資源はあることが判明した。

他の農山漁村で既に行われているような事業を展開するのではなく、規模が小さくとも他の地域には無いユニークなことを由比地区で行い、それに関心を持つ人口を地域内外でどんどん増やして移住や起業に結び付けると振興につながると思われる。

今後の展開として、あくまで地域課題の解決を主題としているため、提案した企画を地域の皆様で一度検討して頂き、関心を持って頂いた内容について、地域の皆さまも一緒に、そして私以外の外部プレイヤーも巻き込みながら実践に向けて動いていければと考えております。

2021年春まで：地域側の感想把握、その反応により、地域資源の追加調査

地域の関係者の皆さまと打合せ

2021年夏：モニター事業実施に向けて活動

2021年秋～2022年春まで：モニター事業実施

以上